

単元名 生きる～なりたい自分に～

氏名： 福家 慎一

学校名： 香川県高松市立川島小学校

担当教科： 全教科

実践教科： 総合的な学習の時間

時間数： 45分×5

対象学年： 6年

人数： 26名

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）：

パラグアイ学習を通して、「生き方につながるヒント」を見つけよう。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	文化に興味・関心を持つことができる。
	(イ) 思考・判断・表現	相互の文化や価値観を尊重し合うことができる。
	(ウ) 技能	違いを知ることから、自己の生活を振り返ることができる。
	(エ) 知識・理解	文化について理解することができる。
【3】 単元設定の理由 ✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観	<p>【教材観】 本単元は、パラグアイ研修での体験や資料などをもとに、多様な文化・習慣・価値観などについて、「どちらが正しく、どちらが誤っている」ということではなく、「違い」を「違い」として認識していく、異文化に対する理解を深めることをねらいとしている。その中で、異なることだけに目を向けるのではなく、共通している点を見つけていく中から、相互の歴史的伝統・多角的な価値観を尊重し合う態度などを育成していくこともねらいとしている。</p> <p>【児童観】 児童の特徴として、学習に対して真面目に取り組もうとする児童が多い一方、自尊心が低かったり、物事に対して受け身な態度が多かったりすることが挙げられる。児童に、研修でパラグアイへ行くことを伝えたところ、「パラグアイってどこにあるん。」や「パラグアイってどんな食べ物がおいしいの。」と興味を持っていた。また、夏休み前にパラグアイの6年生にスペイン語で手紙を書くという活動も前向きに取り組む姿も見られた。</p> <p>【指導観】 ・設定した学習目標を達成するために、資料や用具（工芸品など）を適切に使用できる単元計画を立てた。 ・児童が体験的な学びができるように、講義型の授業ではなく、児童が発見し、考えや学びを深めるような授業構成になるよう工夫した。予め児童に自分の意見や考えを持たせるようにすることで、学習前と学習後での変容を児童自身が感じられるよう工夫した。</p>	

【4】展開計画（全5時間）

※全体の総時間数や「本時」の記入場所は適宜変更して下さい。

※活動・内容の部分は具体的に記載下さい。適宜写真を添付下さい。

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「パラグアイ不思議発見!!」 パラグアイについてのイメージや想像を膨らませることで、児童の学びの意欲を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイクイズ ・パラグアイのイメージを出し合う ・パラグアイの資料や映像を見る。 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料①】 ・クイズ ・資料 ・通貨、紙幣
2	「パラグアイについてもっと詳しく知ろう」 パラグアイの文化（衣食住）についてさらに詳しく学習していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイクイズ ・パラグアイの資料や映像を見る。 ・チーパ・マテ茶を実食する ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料①】 ・写真・映像 ・チーパ・マテ茶
3	「世界で発見なぜそこに日本人が!!」 パラグアイには日本からの移住者がいることや移住者の思いなどを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうして日本人がパラグアイにいるのかを学ぶ。 ・JICA隊員へのインタビュー映像からどんな思いで活動しているのか、パラグアイの学校事情について学ぶ。 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料②】 ・日系人との写真 ・資料 ・インタビュー映像
4	「同世代企画!!」 パラグアイの人たち」 パラグアイの同世代の児童の学校での様子、どのように生活しているのかについて学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイの児童へのインタビュー映像を見る。 ・カテウラ地区について学ぶ。 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料③】 ・インタビュー映像 ・資料・映像
5 (本時)	「パラグアイの人から話を聞こう」 バレットさん家族から「生き方につながりそうなヒント」を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ通話を使用し、パラグアイのバレットさん家族に質問を行う。 ・バレットさん家族から1番心に残ったことや学んだことを短冊に書き、それをテーマ毎に黒板に掲示していく。 ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート【資料④】 ・ビデオ通話 ・短冊

【5】 本時の展開

※過程の網掛け部分は適宜変更下さい。

※詳細に記載ください。

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果をランキングで発表する。 ※アンケート内容は「自分の大切なもの」である。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果はタイトルを言わずに発表し、「何のランキング」なのかを児童たちに考えさせる。 これまでの学習から学んだことを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケート結果 ワークシート
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ通話でバレットさん家族に「生き方につながるヒント」がもらえそうな質問をしたり、相手からの質問に答えたりする。 分かったことや学んだことを全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にアンケート内容を絞って質問者を決めておく。 児童には、話を聞きながら大切と思ったことをメモさせる。 通訳は、塚口 JOCV をお願いしている。 短冊に1番印象に残ったことを書く。また、それを黒板に貼ることで意見を全体で共有し、児童の学びがより深まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ電話 短冊
まとめ (5分)	振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> バレットさんから話を聞いて学んだことをもとに、児童に「これからの自分の生き方」を考えさせる。 	

【授業実践の様子】



【ビデオ通話でバレットさんと話している場面】



【学んだことを黒板に掲示している場面】

【6】本時の振り返り

児童は、パラグアイに興味を持って、意欲的に学習に取り組んでいた。児童は、予め準備していた「生き方につながるヒント」が得られそうな質問をバレットさんに行き、バレットさんからの回答に児童からは、「日本人と同じ考えなんだな。」などの考えに共感する声もあった。教師が現地に行って実際に学んで来た体験をもとに授業を構成することで、より体験的な国際理解教育の授業を実施できた。そのため、多様な文化や価値観、違い学ぶことでより広い視野も得ることができ、この単元の目標として設定していた、「自分の生き方を考えること」を達成できたと考える。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化

質問：パラグアイ学習を通して、あなたの海外の国に対する考えの変化について書きましょう。

前まで：外国は、戦争をいらいし、とてもこわいというイメージがありました。だけど、パラグアイ学習をして、ぼくは、外国は、あがるいイメージにかわりました。ぼくは、パラグアイ学習をして、よかったです。と思います。

前は、海外に行きたくなかったけど今は海外の文化や食べ物を食べて行って行きたくなりました。なので、海外も悪い国ばかりではないんだなということが分かりました。

私は、民族たちが住むようなところだろうと、思っていたら、田舎がととの、それで、日本が少しかわった感じた。なので、きめつけるのはよくないと思いました。今までは、きめつけることがあったので、これから生活する上で気を付けていきたいと思えます。

ぼくは、前まで海外の国は、日本と比べて、食べ物がおいしくなくて、はげいの歌が多い悪い国ばかりだと思っていたけど、パラグアイの学習をして、海外の国にも良いところがたくさんあるんだということを知りました。

【単元を通じ変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】

・バレットさん家族から話を聞いて、児童は、「自分の生き方」についてより意識するようになった。

ぼくは、バレットさんの話から意味をもつ生き方が大切だと思えば、せならバレットさんたちは意味をもつ学んだりすることが大切だと言っていたから、だからぼくは、生きることに意味をもつ生活したいです。

昨日、バレットさん家族は日本の文化に興味を持っていて、いろいろな言葉や言葉でいろいろな話を聞かせてくれた。私も、おもしろい話を聞かせてくれた。私も、おもしろい話を聞かせてくれた。私も、おもしろい話を聞かせてくれた。

意味をもつて生きることは大切だと思えました。ただ、生きるだけでなく、目標や意味をもつて生きるのと、いつうに何も考えずに生きるのには目標や意味をもつて生きる方が楽しいと思うからです。これからは、目標や意味をもつて生活したいです。

私が思ったことは、バレットさん家族の「パラグアイの文化は同じことを考えているんだ」と思いました。「家族は大切」ということや「勉強することは任職の責任がある」といふことが、生きていく上で大切だということを知りました。

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

(授業前)

質問内容	はい	いいえ
海外に行きたいか。	78.2%	21.8%
海外の文化に興味はあるか。	50%	50%

授業前の子どもたちは、まず海外への意識が薄かった。行きたいが、文化などに興味がないという状態であった。

(授業後)

質問内容	はい	いいえ
海外に行きたいか。	80.7%	19.3%
海外の文化に興味はあるか。	80.6%	19.4%

授業後、同項目でアンケートを実施。海外への文化への興味へ肯定的な意見が増えた。パラグアイの文化を学ぶことで、「他の国の文化を知りたい」という意識が高まった。

【8】自己評価

1. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標を達成するために、どのように単元を組めばよいのか、海外研修で得た資料をどう効果的に扱って授業を展開すればよいのかに苦労した。 ・講義式の授業にならないよう、子どもたちに課題意識を持たせ、主体的に学習できる授業展開を考えた。
2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・扱う内容によっては、講義式の授業になる部分もあったため、児童が主体的に考えて取り組めるような工夫がもっと必要だった。 ・ビデオ通話については、通訳などの協力が必要なため、入念な打ち合わせが不可欠である。 ・内容を詳しく学習し過ぎることは、児童の実態や時数などの関係もあり、必ずしも良いこととは言えないので、学習目標に応じて学習する単元内容の構成を考える必要がある。
3. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・チーパーやマテ茶を実際に飲食することで、児童からは、「予想以上においしかった。」や「マテ茶って日本のお茶と味が違う。」などの声があり、食文化の違いを体験的に学習することができた。 ・パラグアイ学習を通して、パラグアイだけでなく、「先生、ブラジルのおいしい料理はなにがあるん。」など他の国にも興味を持つ子どもが増えた。
4. 備考（授業者による自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイとビデオ通信を行ったが、タイムラグはあまりなく、スムーズなやりとりが行えた。 ・本時の授業実施にあたっては、JOCVの方に通訳の協力を得ることなど、様々なサポートが必要で、それがあったからこそ実現した授業であった。

添付資料：

※使用した教材を基本的にすべて添付下さい。

参考資料：

文部科学省「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（中央教育審議会 第一次答申）」

パラグアイふしぎ発見!!

名前()

㊦ パラグアイについてくわしく知ろう

○分かったことやおもしろい、ふしぎと思ったことをメモしておこう。

【メモ】

○パラグアイの話を聞いて心に残ったことを3つ書こう。

①

②

③

○今日の授業で学んだことや考えたことを書きましょう。

☆特に授業前と後のパラグアイへの考えの変化や思いをくわしく書きましょう。

バレットさんの家族に質問してみよう!!

④

◎これまでのパラグアイの授業を通して、どのような「生き方」や「しあわせ」を見つけることができましたか。

【生き方】

【しあわせ】

◎バレットさんの家族に「生き方につながるヒントをもらえるような」質問を考えて書きましょう。

○

○

○

○

○

○

パラグアイ学習での学びを自分の生活に生かす



◎話を聞いてメモをとりましょう。()には質問番号を書く。

()

()

()

()

◎メモの中で特に印象に残ったものに○をつけましょう。

◎今日の学習から学んだことをまとめましょう。
